

## 6 章 鋼製橋脚設置工

### 6.1 鋼製橋脚設置工

## 6章 鋼製橋脚設置工

### 6.1 鋼製橋脚設置工

#### 1. 適用

陸上での鋼製橋脚設置工事に適用する。

#### 2. 数量算出項目

鋼製橋脚の基数と架設鋼材質量、地組鋼材質量、現場溶接延長を区分ごとに算出する。

#### 3. 区分

区分は、規格とする。

#### (1) 数量算出項目及び区分一覧表

項 目	BIM/CIM モデル	属 性 情 報			
		規 格	単 位	数 量	備 考
アンカーフレーム架設	Ⅱ	×	基		
アンカーフレームグラウト注入	I	○	m <sup>3</sup>		
鋼製橋脚地組	I	×	t		
鋼製橋脚地組連結	Ⅱ	×	箇所		
鋼製橋脚架設	I	×	t		
鋼製橋脚架設ブロック	Ⅱ	×	ブロック		
鋼製橋脚	Ⅱ	×	脚		
鋼製橋脚膨張モルタル注入	I	○	m <sup>3</sup>		
鋼製橋脚無収縮モルタル注入	1	○	m <sup>3</sup>		
現場溶接	Ⅱ	×	m		平均板厚 t = mm
ビード仕上げ	Ⅱ	×	m		
トルシアボルト	Ⅱ	○	本		
足場	B	×	掛m <sup>2</sup>		

BIM/CIMモデルによる数量算出方法は、鋼構造およびコンクリート構造を参考とする

#### 4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか下記の方法によるものとする。

- (1) アンカーフレームモルタル注入量はアンカーフレーム1基ごとに算出する。
- (2) 鋼製橋脚膨張モルタル注入は総量を算出する。なお、脚毎の内訳も算出する。
- (3) 鋼製橋脚無収縮モルタル注入は総量を算出する。なお、脚毎の内訳も算出する。
- (4) 現場溶接はビード仕上げの有無に関わらず総延長を算出する。
- (5) ビード仕上げは必要な場合のみ算出するものとし、総延長を算出する。
- (6) 足場  
足場は「第1編（共通編）11章仮設工11.4足場工」によるものとする。

- 1) 足場面積の算出は、下記のとおりとする。なお現場条件、橋脚の構造および施工方法等でこれによりがたい場合は、別途算出するものとする。

